

事業所名

学童クラブぐるりんぱ

## 支援プログラム（様式）

作成日

令和7年

2月

5日

法人（事業所）理念		自閉症とその周辺領域の障害を持つ方々が、個人の尊厳を保ち生活を営むために私たちは結集し、事業を通じ、自己の幸福を追求していく		
支援方針		地域に住む、障がいのある子どもたちが楽しい時間を過ごせるよう、一人ひとりの特性に合わせた活動を見つけ、放課後の充実を図れるよう支援する		
営業時間		①通常日 13:30 から 17:30 ②長期休み 11:00 から 17:30	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	来所時の利用者様の健康の確認を行うとともに、体調不良などの意思の表出が難しい方には、表情や普段と違う様子を確認しながら、健康観察を行います。		
	運動・感覚	支援プログラムに身体を動かす内容の活動を取り入れ、バランス感覚を養ったり、身体を使ったゲームを取り入れることで、色々な感覚刺激を与えられるよう支援します。		
	認知・行動	様々な遊びを通して、色や形、大きさ、重さなどの認知力を生かし、自分に入ってくる情報を適切に無理なく処理できるように、個々の特性に配慮した支援を考えていきます。		
	言語 コミュニケーション	家庭や学校との連携を行い、利用者様の理解を深め、個々の利用者様に合ったコミュニケーション手段を適切に選択・活用し、意思の伝達が出来るように支援を考え、相互理解を図ります。		
	人間関係 社会性	集団での活動や、友達との関わりを通して、挨拶・ルール・マナー・礼儀・感謝・謝罪など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。友人・上下・利害・同盟・協力・対立など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動を選択できるように、一緒に考えていきます。		
家族支援	送迎などを活用して、ご家族の負担軽減を図る。そして困りごとや困り感を察知し、いつでも話せる環境作りをしていきます。	移行支援	利用者様・ご家族様が安心して暮らせるように、支援会議には進んで参加していきます。	
地域支援・地域連携	ご家族様のみが抱え込むのではなく、社会資源を活用出来るようアドバイス等していきます。	職員の質の向上	自閉症とその周辺領域の障害の理解を深めます。そして利用者様個々の特性や活動の中での気づきや変化は職員間で共有し、積極的に事例検討を図ります。外部研修にも参加していきます。	
主な行事等	季節に合わせた行事を活動に盛り込んでいきます。			